

23J-am09

薬剤師による健康チェックと健康相談会がもたらす健康支援効果 (VI) - 健康経営を目指す企業の社員を対象とした健康支援 -

○和田 侑子^{1,2}, 川上 昌毅³, 國崎 真弓⁴, 高田 智生^{1,2}, 円入 智子^{1,2}, 和田 佳子¹, 渡邊 知里¹, 中島 正登¹, 山崎 紀子¹, 下川 健一¹, 石井 文由¹ (1明治薬大, 2ウエルシア薬局, 3日立製作所, 4日立ヘルスケアシステムズ)

【目的】近年、国が要望する薬局の役割として健康サポートすなわち地域住民の健康維持増進、疾病予防支援がある。我々は薬剤師が簡易健康チェックの結果を見ながら個別の健康相談に応需し、生活習慣改善アドバイスを行うことによる有意な数値改善効果を得てきた (138 年会要旨集(4) p117 (2018))。その一方で近年、企業には健康経営が求められている。そこで本研究では、健康経営を目指す株式会社日立製作所の社員を対象として、薬剤師による健康チェックおよび相談応需、生活習慣アドバイスをを行うことによる健康効果について検証した。

【方法】被験者は株式会社日立製作所の社員から募集し、研究への参加に同意を得た者とした。105 名が参加を希望し、そのうち 84 名 (平均 43 歳) が 6 ヶ月間のモニター期間を終了した。被験者は健康チェック (身長、体重、へそ周りウエスト、体脂肪率、筋肉率、内臓脂肪指数、HbA1c、血中脂質濃度および骨密度 YAM%) を受検し、生活習慣に関するアンケートに回答した。これらの測定結果および回答内容をふまえ、薬剤師が個別に相談応需して導き出した生活習慣改善プランを被験者が実施し、その実施状況を日記に記録した。3 および 6 か月後に上記と同様の健康チェックを受検した後、必要あれば改善プランの変更や追加を行った。本研究は明治薬科大学および日立グループの両倫理審査委員会に承認を受けて実施した。

【結果・考察】初回測定会での測定結果より、いずれの測定項目においても疾患の予備群あるいは罹患の割合は 20~30%存在した。これらの該当者に適切なアドバイスを行い生活習慣の改善を支援することにより各測定値の改善が見られ、特に HbA1c (6.0→5.8%, n=53)、non-HDL コレステロール (178→160 mg/dL, n=19)、骨密度 (70.8→75.6%, n=39) において有意な改善が見られた。